

Green Brave

#52 Green Brave GR Supra GT



Round.6

SUGO GT 300km RACE

2025年9月20日(土)～21日(日) スポーツランドSUGO(宮城県村田町)

■荒れたレースで粘り強く戦い6位入賞■

土曜日(予選日)の天候は曇り。夜に降った雨の影響で路面は濡れています。95分間の公式練習は9時15分から行われ、野中選手、吉田選手の順に走行。路面は乾き始め、クルマとタイヤを温存するため、ピットで40分ほどステイします。続いて、野中選手がドライタイヤを履いてコースイン。ライン上はほぼドライで、赤旗中断を挟みながらセッションは進行します。吉田選手に交代し、チェッカーまで走行。ベストタイムは野中選手が18周目にマークした1分18秒023で、堂々のトップタイムです。

ノックアウト予選(Q1)はA、Bの2組に分かれて行われ、吉田選手がB組に出場。3周目に1分18秒326をマークし、トップにつけますが、続けてアタックを行います。5周目に1分18秒207をマークし、4位でQ1を突破。続くQ2では野中選手が3周目に1分18秒116をマークし、4位につけます。続けてアタックするも、コンディションが変化しており、タイムを更新できず。11位で予選を終えました。

日曜日(決勝日)の天候は曇り。チームは予選11位から追いつけるために、フロントだけのタイヤ交換作戦を立案。ウォームアップ走行でタイヤの確認を行い、実行に移します。スタートドライバーの野中選手は、12位で1周目を終了。混戦の中で他車と接触し、ダメージを負った状態で走行します。16周目に上位の車両がスピンし、よけようとした野中選手に後続車が追突。走行に支障はなかったため、11位に上がります。20周目に#11日産Zを抜き、10位へ。24周目を過ぎ、ピットに入るライバルが現れる中、チームもピットインを決断。26周目の終わりにピットに入り吉田選手に交代し、店舗メカニックが給油と前輪2本交換を行いピットアウトします。性能調整の一環で、給油装置に流量を絞る装置がついているため、多くのライバルより長い給油時間となっています。

コースに復帰した吉田選手の順位は23位。ライバルのピットインにより、周回を重ねるたびに順位が上がっていき、39周目には15位へ。さらに翌周には上位のストップとコース上で1台抜いたため、13位まで順位を上げます。しかし45周目、GT300の上位2台を含む4台が関連するクラッシュが発生。赤旗中断となりガードレールの修復に1時間を要します。16時からセーフティカーの隊列が動き出し、52周目からレース再開。吉田選手の順位は10位です。最大延長時間まで残り20分となり、実質的なスプリントレースとなる中、未ピットだった上位2台が相次いでピットイン。さらに53周目、前を走っていた#45フェラーリがストップしたため、吉田選手の順位は7位まで上がります。ベストラップを更新しながら#18メルセデスを猛追。56周目にはテールトゥノーズとなり、チャンスをうかがうも仕掛けられないままファイナルラップを迎えます。しかし、吉田選手は1コーナーヘアアウト側から進入し、3コーナーでインを奪取。土壇場で#18メルセデスの前に出ると、6位でチェッカーを受けました。今回の結果により、ランキングは7位に上昇。大混戦のまま、シーズン終盤を迎えることになりました。



決勝結果(GT300クラス)

#52 Green Brave GR Supra GT
(吉田広樹/野中誠太)

決勝: 6位(66周、2時間45分19秒870)

予選: 11位(Q2: 1分18秒116)



■■■ DRIVERS VOICE ■■■



吉田広樹 選手

予選後：クルマのフィーリングに満足していたわけではなく、さらに自分のタイムがQ1突破ラインに届いていなかったのが、これで大丈夫かなという不安があったのですが、全体的にまわりのタイムも出ていませんでした。自分の気持ちとは裏腹にQ1を突破でき、誠太につなげられて良かったと思います。午前中とそれほど変わらないタイムしか出なかったところが、ぼくらの課題だと思っています。明日は正直走ってみないとわからない部分があるのですが、暖かくなる方がいいかなと思っています。

決勝後：大変なレースで疲れました。最後、18号車のAMGを抜いた時、それまでイン側に飛び込む素振りを相手に見せていたので、失敗してもいいという気持ちでアウト側から1、2コーナーをまわり、3コーナーでインをとることができました。うまく処理することができ、良かったと思います。こういう荒れたレースでしっかり生き残り、ポイントをちゃんと取るというのがぼくたちの強みだと思います。チャンピオン争いを考えても今回6位で取ったポイントは大きいと思いますし、大量得点できればもちろん良かったのですが、今回はそういうチャンスがありませんでした。



野中誠太 選手

予選後：公式練習時と同じフィーリングがなく、下位に沈んでしまいました。グリップレベルが若干下がったというか、クルマのバランスも公式練習からあんまり納得いくような状況ではなく、うまく改善できずに予選に出てしまったような感じです。ぼくらのタイムがあまりにも変わってないところは最近抱えている問題だと思うので、うまく改善策を見つけていきたいなと思います。明日は晴予報ですし、決勝の前に走れますので、そこでいろいろと試していきたいと思っています。

決勝後：GT500が来てからは戦争みたいなレースでした。いろいろな接触がありましたが、生き残るために集中して戦いました。ピットインのタイミングを引っ張りたかったのですが、他車を抜くことができず、さらに他車と比べてタイヤの状態は悪くなさそうだったので、ちょっと早めにピットに入りました。これだけ危ないレースは久しぶりで、GT300のスピードも昔より上がっているのが、吉田選手にバトンを渡すことができ、良かったです。次のオートポリスは去年、悔しい思いをしています。ぼくらは非常に強いと思いますし、吉田選手も100戦目のレースなので、優勝目指して頑張りたいです。

GT300 決勝結果

順位	車番	車名(車両)	周回数
1位	60	Syntium LMcorsa LC500 GT (レクサス LC500)	67周
2位	56	リアライズ日産メカニクチャレンジ GT-R (日産 GT-R NISMO GT3)	67周
3位	666	seven×seven PORSCHE GT3R (ボルシェ 911 GT3R)	66周
4位	4	グッドスマイル初音ミク AMG (メルセデス AMG GT3)	66周
5位	11	GAINER TANAX Z (日産 フェアレディZ)	66周
6位	52	Green Brave GR Supra GT (トヨタ GR Supra)	66周

天候：曇/晴 路面：ドライ トップ6まで (出走28台)

GT300 チームランキング

順位	ゼッケン	チーム名	ポイント
1位	4	GOODSMILE RACING & Team UKYO	93.5
2位	65	K2 R&D LEON RACING	86
3位	56	KONDO RACING	82.5
4位	2	HYPER WATER Racing INGING	67
5位	7	CARGUY MKS RACING	66.5
6位	777	D'station Racing	66
7位	52	埼玉 Green Brave	63.5

トップ7まで

■■■■■ PARTNERS ■■■■■



第7戦 10月18日~19日
オートポリス